

施設番号
施設名 府中緑町学びの保育園
施設所在地 府中市緑町1-6-3
法人名 社会福祉法人育木会

1. 活動のテーマ 壁面を使う	
<テーマ> 自分たちで野菜を育ててみよう。成長過程を知り、育てた達成感を得て何を感じるか。	
<テーマの設定理由>	
(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 体験を大事にし、心の足腰を育む。 野菜はどのように育つか、いつ頃食べられるようになるのか興味を持った児童がいた。また、昨年年長児が育てている様子を見て憧れを持ち、自分たちもやりたいとのことだったので、実施しようと考えた。	
2. 活動スケジュール	
土を購入し、5月には枝豆やピーマンの苗を植え、収穫に向けて育て始めた。夏に収穫し、ピーマンは繰り返し採ることが出来た。また、赤くなるまで観察したり食べてみたり、様々な経験をする事が出来た。	
3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定	
(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 屋上に必要分のプランター、子ども達ようのじょうろを用意し、毎日水やりに行けるようにした。	
4. 探究活動の実践	
<活動の内容>屋上で野菜に毎日水やりを行い、日々の変化を観察した。最初は小さかった苗がみるみるうちに大きくなり、実を発見したときには、子どもたちも大喜びだった。自分たちでハサミで切って収穫し、給食室に届けて調理に使用してもらい食べる経験をした。	
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>	
(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) 事前に植物の特徴について知らせることで、水をあげすぎてしまうと根が腐ってしまうことや、足りなくても枯れてしまうことを理解し、約束事を守って世話をすることが出来た。また、枝豆の成長過程の図を貼りだしておくことで、子どもたちが「いまはここだね!」「はやくしゅうかくしたいな」と見通しを持って活動に取り組むことが出来た。	



活動の様子。



ますの

5. 振り返り	
<振り返りによって得た先生の気づき> 自分たちで枝豆やピーマンを育てるだけでなく、プランターに土を入れるなどの準備から取り組むことが出来たので、より責任感を持って一生懸命育てているように感じた。子ども達から「きょうはいつみずやりにいく?」(夏で暑い日もあったので、時間を調整していた)と尋ねたり、小さな実がなったことをお互い共有して喜んだり、成長過程を知りつつ、友だちとともに達成感、満足感を感じる経験をする事が出来、良い機会となった。	